

第1学年 生活科学学習指導案

1 単元名 わたしのあさがお

2 単元について

- ・本単元は、あさがおを栽培することを通して、その成長や変化の特徴に気付き、よりよく育つための世話を工夫したり、自分なりの方法で表現したりするとともに、親しみをもって大切に育てようとする態度を育てることをねらいとしている。あさがおは、変化に富んだ成長過程が見られ、世話をした分だけ成長を実感しやすい植物である。そこで、「大きくなってほしい」「きれいな花が咲いてほしい」など、一人一人の願いや思いを大切にしながら活動していくことで、自分が育てているあさがおが成長することへの喜びや感動、さらには、自己有用感を得ることができるようになりたい。
- ・本学級の子供たちは、校庭の春の草花や生き物を楽しみながら探したり、家や保育園・幼稚園で育てた野菜や植物のことを話題にして経験を詳しく話したりするなど、動植物への関心は高い。しかし、自分の手で種から育て、必要なことを考えながら継続的な世話や観察をするといった経験は多くない。そこで、「一人一鉢」のあさがおを栽培し、双方向の関わりを繰り返しながらどのような世話が必要か考えていくことで、自分の課題の解決に向けて試行錯誤しながら、粘り強く探究していく力を育てていきたい。
- ・本時では、「わたしのあさがお」という意識をもって一人一人の子供が主体的に学習活動に取り組むことができるように「あさがおでんわ」を用いて、あさがおの観察を行う。あさがおと会話をするように関わることであさがおに対する思いがふくらみ、世話の仕方を工夫しようという意欲が高まるようにしたい。さらに、観察して気付いたことを自由に交流する場を設定することで、自分の今までの取組を振り返るとともに、友達の考えを参考にして自分の世話の仕方を工夫しようとするなど、新たな気付きを見だし、これからの活動に生かしていけるようにしたい。

3 本時の展開（本時9／19）

(1) 本時のねらい

あさがおの様子を観察したり気付いたことを互いに伝え合ったりすることで、あさがおの成長を捉え、これからの世話の仕方を考えることができる。

(2) 展 開

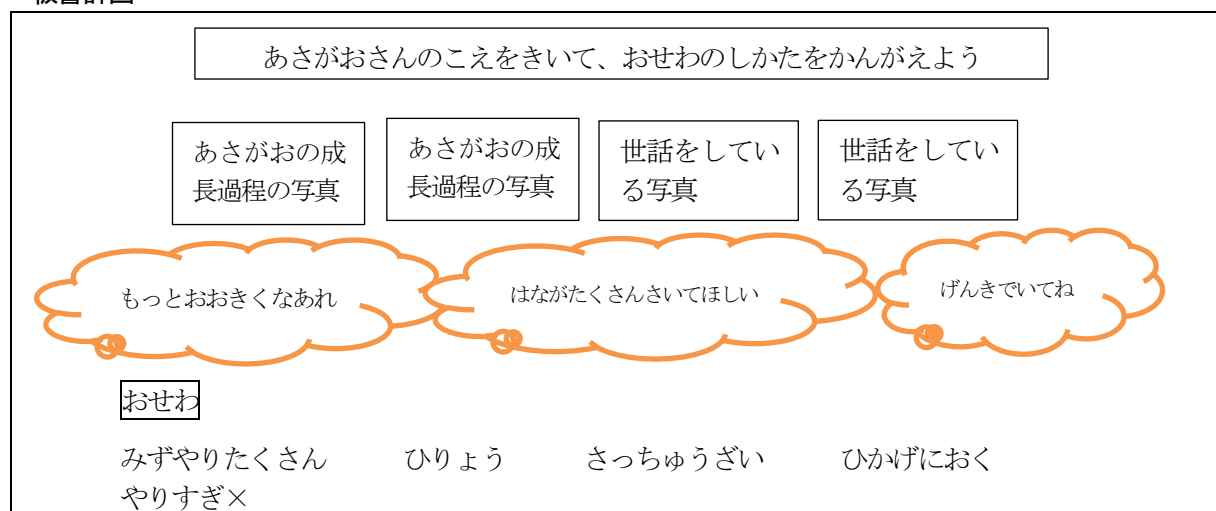
学習活動（配時） ・予想される子供の反応	・指導上の留意点 評価（方法）
1 本時の目当てと学習活動を確かめる。（3分）	・今までのあさがおの成長の様子を振り返り、本時の活動の見通しをもつことができるようにする。
あさがおさんのこえをきいて、おせわのしかたをかんがえよう	
2 あさがおの様子を観察する。（15分） ・毎日水やりをしてくれてありがとうと言ってよ。 ・葉っぱの数がとても増えてきたよ。元気いっぱいだよと言っていいよ。 ・もっと水がほしいと言っていたよ。	・「あさがおでんわ」を使って、あさがおと会話をするように観察することで、あさがおの気持ちに寄り添い、変化や成長に気付くことができるようにする。 ・気付いたことは付箋に書き、「あさがおはっけんこうなあ」に貼る。互いに見合うことで気付きを共有できるようにする。
3 あさがおの観察をして気付いたことを話し合う。（20分）	・話し合いでは、観察して気付いたことや思ったことを自由に交流し、友達の考えに共感したり、困っている友達にどうしたらよいかアドバイスしたりすることで、これからのお世話の方法や工夫を考えることができるようにする。
・ばくのあさがおは葉っぱの元気がないんだ。暑くて枯れそう。 ・水が足りないのかも？毎日どれくらいあげているの？ ・わたしのあさがおも太陽が当たりすぎて暑そうだったから、日陰に移動したよ。	・「どうしてそう思うのか」「これからどうしたいのか」など子供の思いや願いを尋ねることで、あさがおの世話について自分事として考えることができるようにする。

・わたしのあさがおは、1つ花がさいたよ。うれしいな。 ・わたしのあさがおは、まださかないな。いつさくのかな。 ・ここにつぼみがあるよ。だから、もう少しで花が咲くよ。	・あさがおの成長の様子や子供たちが世話をしている画像を見せることで、今までの活動を想起し、課題意識が生まれるようにする。
・虫に食べられているはっぱがあった。大変だ！ ・どんな虫が食べたのかな。調べてみよう。 ・おばあちゃんが畑の野菜に葉をまいていたよ。	【思考力・判断力・表現力等】 あさがおの成長を捉え、これからの世話の仕方について考えている。（発表・付箋）
4 あさがおの世話をする。（7分） ・みんなの話を聞いて、水が足りないみたいだから、水をペットボトル1本分あげよう。 ・よく見ると私のあさがおもたくさんのつぼみができている。どんな色の花が咲くか楽しみだな。 ・あさがおさんが暑そうだから、日陰に動かしてあげたらいいとわかった。どこが日陰になるかな。	・あさがおを改めて観察したりあさがおの世話をしたりする時間をもつことで、友達の考えを自分の活動に取り入れることができるようにするとともに、世話への意欲を高める。

(3) 視点

「あさがおでんわ」を使って自分のあさがおの様子を観察したり、気付いたことを交流したりしたことは、あさがおの成長を捉え、これからの世話の仕方を考えることに有効であったか。

4 板書計画



5 主な学習の系統

